

地域（磐田市）小規模事業者の動向（27年10月調査）

【調査の概要】

- 1、調査目的・・・磐田市商工会が小規模事業者の持続的発展を支援するために、当会から見た地域の景況並びに経営課題を把握する。
- 2、調査対象・・・当会の会員企業50社
業種別内訳は、地区内商工業者の構成比率を考慮して、建設業10社、製造業15社（輸送関連10社、その他5社）、小売業10社、飲食業5社、サービス業10社とした。
- 3、調査方法・・・当会の経営指導員による面接聴取によるアンケート調査
- 4、調査内容・・・対前年同月との比較及び対前月との比較
項目：売上高、仕入単価、資金繰り
- 5、分析方法・・・各項目について、プラス傾向（増加、上昇、好転）から、マイナス傾向（減少、低下、悪化）の構成比を差し引いた数値（判断指数）・DIをもとに分析した。

（注）今回調査は初回の為、前回調査との増減比較による改善の方向性を見ることはできなかった。

（注）当会の調査は調査対象が50社と限られているため、地域金融機関の景況調査（静岡県西部地域しんきん経済研究所）の調査結果も活用し地域の動向を把握することとした。

【製造業の状況】

製造業の景況天気図



●売上額の動向

売上額DI（増加－減少）は当会調査では0.0、静岡県西部地域しんきん経済研究所（以下では、しんきん経済研究所と略称する）では-4.70であった。しんきん経済研究所の調査によると、前期比では12.8%の改善となっている。

輸送関連製造業とその他製造業では、前者は売上額DI-10.0、後者は20.0であり、両者の差が際立っている。

●仕入単価の動向

仕入単価DI（上昇－下降）は当会調査では13.33、しんきん経済研究所では16.20であった。しんきん経済研究所の調査によると、前期比では7.3%の改善となっている。

輸送関連製造業とその他製造業では、前者は仕入単価DI10.0、後者は20.0である。この差は、前者では材料は支給されている場合があることによるものと推察される。

●資金繰りの動向

資金繰りDI（好転－悪化）は当会調査では-20.0、しんきん経済研究所では-17.3であった。しんきん経済研究所の調査によると、前期比では5.7%の悪化となっている。

輸送関連製造業とその他製造業では、前者は資金繰りDI-10.0、後者は-40.0であり、両者の差が大きい。

●調査員コメント

- ・持続化補助金を活用して販売促進事業を実施中。HP、パンフレットが完成。（織物）

- ・売上は順調。仕入単価が上昇しているため利益は横ばい。(織物)
- ・売上はやや減少。今後はモデルチェンジでの新規受注計画があり期待している。(自動車部品)
- ・現在の工場では、加工点数を増加させる限界にあるように感じている。設備投資を行うと材料や完成品をストックする場所がなくなるため対応を検討中。(自動車部品)
- ・ポリプロピレン等の原料は春から価格が下がっている。

【建設業の状況】

建設業の景況天気図



●売上額の動向

売上額D I (増加-減少) は当会調査では-30.0、しんきん経済研究所では-14.3であった。しんきん経済研究所の調査によると、前期比では18.5%の改善となっている。

●仕入単価の動向

仕入単価D I (上昇-下降) は当会調査では40.0、しんきん経済研究所では34.9であった。仕入価格の上昇感は強い。しんきん経済研究所の調査によると、前期比では2.6%の改善となっている。

●資金繰りの動向

資金繰りD I (好転-悪化) は当会調査では-30.0、しんきん経済研究所では-15.9であった。資金繰りの悪化感は強い。しんきん経済研究所の調査によると、前期比では5.0%の悪化となっている。

●調査員コメント

- ・材料等の仕入れ価格が高騰。仕事量は良好で、忙しい。
- ・管工事が減っている。
- ・売上は減少だが年間では不変。仕入単価が上昇しているため利益は減少。補助金で3D看板作成の機械を購入予定で、今後その分野の受注を期待している。

【小売業の状況】

小売業の景況天気図



●売上額の動向

売上額D I (増加-減少) は当会調査では-30.0、しんきん経済研究所では-3.8であった。当会としんきん経済研究所の調査には大きな差がある。当会の調査対象は小規模事業者に限定していることが差の原因の一つと考えられる。

しんきん経済研究所の調査によると、前期比では19.7%の改善となっている。

●仕入単価の動向

仕入単価D I (上昇-下降) は当会調査では50.0、しんきん経済研究所では18.9であった。仕入価格の上昇感は強い。しんきん経済研究所の調査によると、前期比では10.5%の改善となっている。

●資金繰りの動向

資金繰りD I（好転－悪化）は当会調査では－20.0、しんきん経済研究所では－18.9であった。資金繰りの悪化感は強い。しんきん経済研究所の調査によると、前期比では6.6割の改善となっている。

●調査員コメント

- ・近隣に大型店舗が相次いでオープンするため影響を懸念している。
- ・近くに大型店があるが、商品の差別化をしており影響がない。
- ・8月は盆月で忙しかった。9月に入り雨も続き客足が遠のいた。
- ・売上は横ばい。仕入単価が上昇しているため利益は減少。磐田市の新店舗アピタの納入予定であり、新規顧客獲得に期待している。

【飲食業＋サービス業の状況】

景況天気図



●売上額の動向

売上額D I（増加－減少）は当会調査では6.67、しんきん経済研究所では－30.0であった。当会としんきん経済研究所の調査には大きな差がある。当会の会員企業の一部で、今般の「小規模事業者持続化補助金」を活用して販売促進の取り組みをしていることが差の原因の一つと考えられる。しんきん経済研究所の調査によると、前期比では39.1割の悪化となっている。

●仕入単価の動向

仕入単価D I（上昇－下降）は当会調査では13.33、しんきん経済研究所では10.0であった。しんきん経済研究所の調査によると、前期比では17.3割の改善となっている。

●資金繰りの動向

資金繰りD I（好転－悪化）は当会調査では0.0、しんきん経済研究所では－40.0であった。当会としんきん経済研究所の調査には大きな差があり、当会の調査件数が少ないのが原因している可能性がある。

しんきん経済研究所の調査によると、前期比では5.5割の改善となっている。

●調査員コメント

- ・持続化補助金で看板を設置した。11月は、その効果で売り上げが伸びる計画。（美容室）
- ・持続化補助金を使って、トイレを改装。常連客からは好評。新規顧客は今後期待。（食堂）
- ・7～9月は宴会もなく売り上げは減少。仕入単価は野菜や魚が高騰している。
- ・売上は順調だが、仕入単価が上昇。経費についても削減できるところがあり、経費を見直したい。（クリーニング店）